



施設のご案内

社会福祉法人

# 希望が丘



希望が丘

希望が丘児童施設

希望が丘グループホーム

相談支援センター希望が丘

希望が丘カッコー

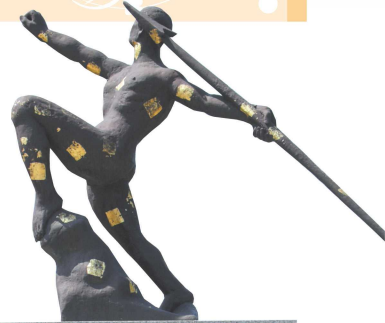
希望が丘には障害のある約100人の方が暮らしています。  
 障害のある人も、そうでない人も、共に同じ人として当たり前暮らし  
 ノーマライゼーションの理念を基本に、「人としての尊厳」が守られた、  
 豊かな人生が送れるよう支援しています。



理念

「自立と共生」

一人ひとりの個性を尊重して最大限の自立を目指し、  
 ともに生活する中で、互いに成長し地域との共存を図る。



作/長谷川八十

生活空間

清潔感いっぱい、快適に。

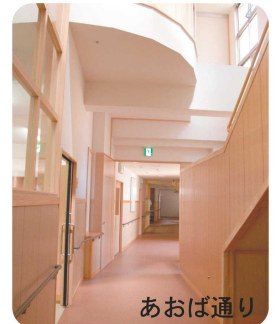
居室はプライバシーに配慮したユニット仕様となっています。  
 男女とも5ユニットあり、ユニット内には各々ダイニングが設置され、  
 個室と2人部屋を合わせ7~8名が生活しています。

個室(洋間)



和室・洋室それぞれの  
 好みに合った部屋を  
 選ぶことができます。

個室(和室)



あおば通り

食堂や交流スペースに  
 繋がる廊下。

洗面所



女子棟/ダイニング



液晶テレビとこたつが設置され、ゆったりくつろげるスペースです。

食堂

おいしく、楽しく。



食事処/きんもくせい

広く明るい食堂で、おいしい食事が待っています。

お風呂

明るく広いゆったりスペース。



女子風呂/おりひめ

- ◆女子風呂  
おりひめ
- ◆男子風呂  
ひこぼし

天井が高く洗い場スペースも広く、のんびりゆったり入れます。  
 浴槽へはスロープになっており、安全に入浴できます。

## 地域交流ホール 明るく、仲良く。

研修室として、ビデオルームとして、作品展示やギャラリーとしても、多目的に使用できます。和室ではお茶、お花もでき、ほかにもカラオケや喫茶コーナーもあります。



喫茶コーナー



ギャラリー/にじ

研修やビデオルーム、ギャラリーとしても活用しています。



和室/ささゆり



体育館

## グラウンド・中庭

ゴムチップ舗装によりクッション性があるので、安心して活動ができます。



グラウンド

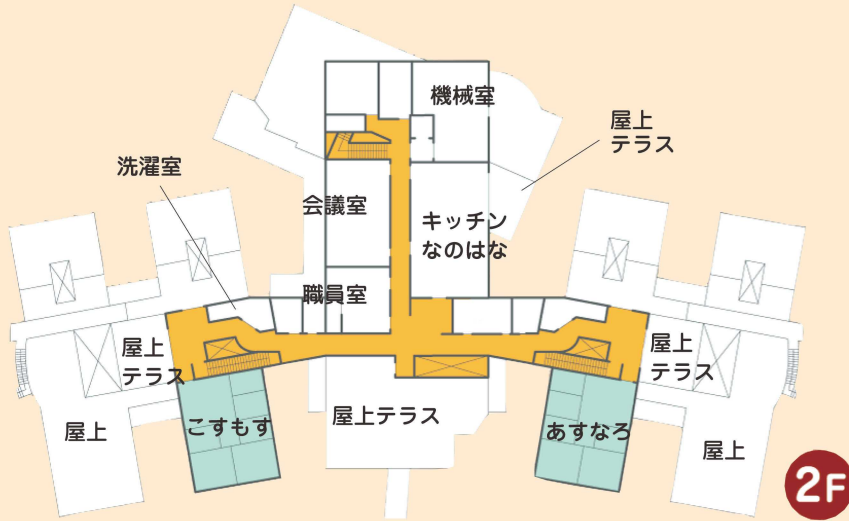
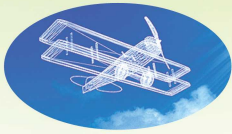


中庭

## 登り窯

金沢美術工芸大学の学生と陶芸作品を制作しています。出来上がった作品はのぞみ展で展示販売しています。



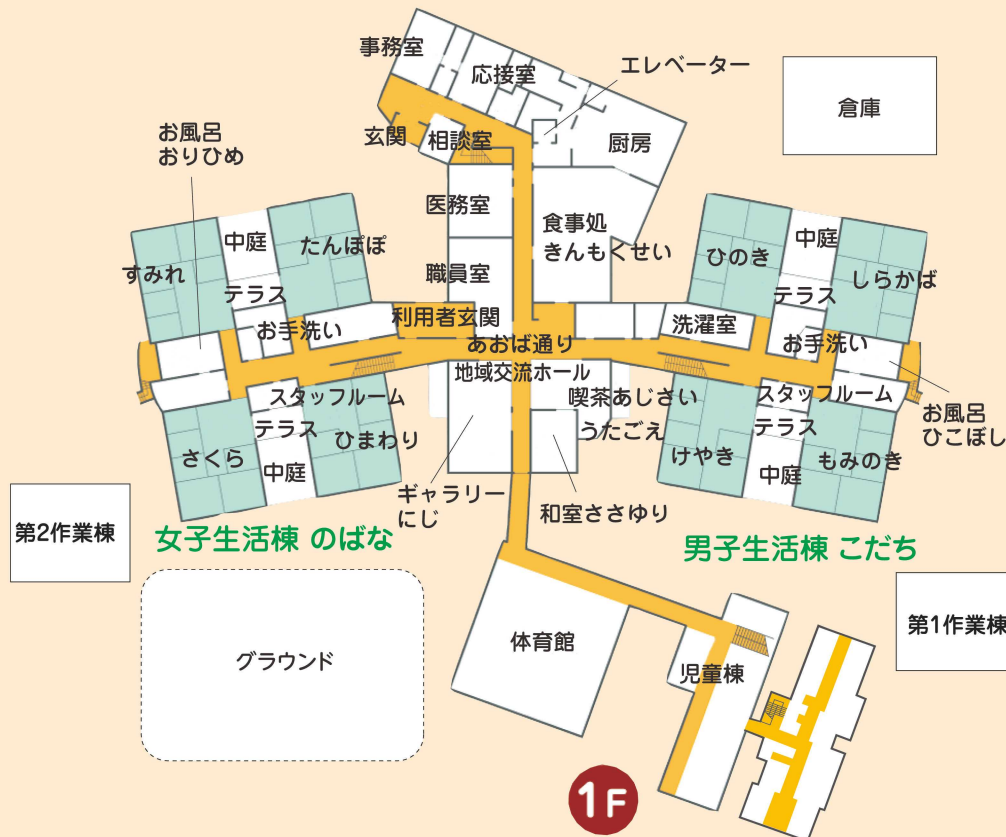


**【事業内容】**

- 障害者支援施設  
/施設入所68名・生活介護60名
- 短期入所
- 日中一時支援事業
- 福祉型障害児入所施設  
/定員30名
- グループホーム
- 生活介護  
通所/定員20名

**【施設概要】**

- 認可年月日  
昭和43年8月31日
- 敷地面積  
29,307.3㎡
- 建物延面積  
5490.57㎡
- 経営主体  
社会福祉法人 希望が丘





# 希望が丘にはいろいろな行事があります。

行事は利用者の皆様にとって大きな楽しみの一つです。施設内の生活が楽しく豊かになるように、また季節を感じることができる行事も大切にしています。

## 行事

### 日帰り旅行



県内外への日帰り旅行。

### 盆踊り



体育館での盆踊り。

### 希望祭



毎年恒例の希望祭。

希望が丘最大のイベント、希望祭。様々なステージや模擬店を楽しむことができます。



小池赤土野菜組合の野菜販売。

## 活動風景

いろいろな作業種を取り入れ、果敢にチャレンジ。個々のニーズや障害特性に合うバリエーション豊かな活動支援を行っています。



■クラフト班  
陶芸作品やアート作品の制作。



■農耕班  
地元の方と一緒に育てたさつまいもの収穫。



■自由活動班  
体育館や中庭での体操・歩行活動。



■美化班  
園内の清掃、園外の掃除作業。

## 希望が丘 児童施設

小規模グループケアの基準に対応し5つのユニットがあります。すべての居室が個室でユニットごとに食堂・風呂があります。より家庭に近い環境で自立に向けた生活スキルを身につけることができるように取り組んでいます。



正面

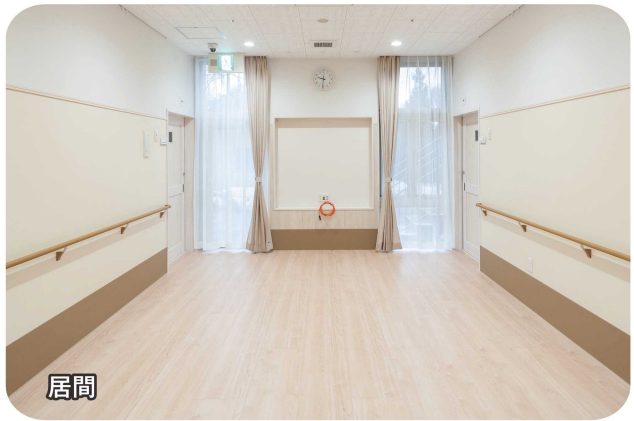


食堂

ユニット居間や食堂には床暖房が完備しています。



内部



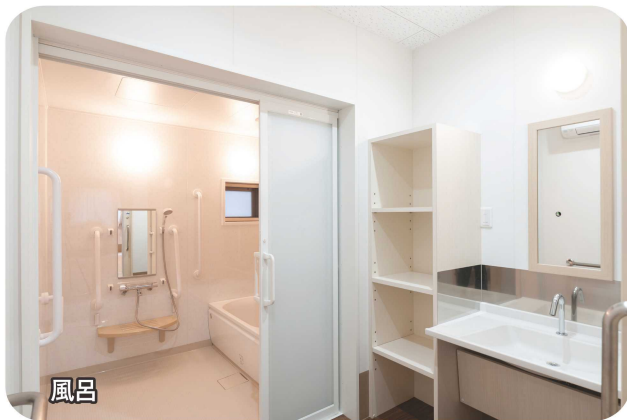
居間



居室



居室



風呂



トイレ

## 希望が丘グループホーム

森本地区に2つ、小坂町・神谷内町にそれぞれホームがあります。短期入所も運営しています。



希望が丘グループホームあゆむ 定員8名



希望が丘グループホームだいち 定員4名



希望が丘グループホームさつき荘 定員4名



希望が丘グループホームすみれ 定員7名

## 相談支援センター希望が丘(グループホームあゆむ併設)



事業内容  
障害児相談支援  
特定相談支援

## 希望が丘カッコー



事業内容  
生活介護  
定員20名(機械浴完備)



- 誕生 昭和39年、金沢青年会議所が知的障害者問題を取り上げ、石川県育成会、北國新聞社が一体となって希望が丘の建設に力を注ぎました。地元小池町の有志は山を率先無償提供し、陸上自衛隊金沢駐屯第10師団施設隊の協力により造成工事が行われ、昭和42年9月現地にて起工式をあげ、昭和44年4月に開設しました。
- 沿革 昭和44年 3月 本館完成。  
 " 4月 定員50名児童施設開設。  
 昭和45年12月 作業棟が日本自転車振興会の補助などで竣工。  
 昭和46年10月 衛生棟が日本競馬協会の援助で竣工。  
 " 12月 体育館が日本自転車振興会の援助で竣工。  
 昭和49年11月 成人棟が、日本自転車振興会、石川県、金沢市社会福祉事業振興会などの援助で完成、女子棟も改装。  
 昭和50年 4月 更生施設開設、児童施設定員40名、更生施設定員50名となる。  
 昭和52年10月 更生施設定員を60名に増やす、児童の定員が30名になる。  
 昭和53年10月 おぎゃー献金の寄贈で温室建設。  
 昭和54年 9月 更生施設定員70名となる。  
 平成元年 4月 グループホームすみれ荘開設。  
 平成 2年 3月 穴窯完成。「夢工房、のぞみ窯」と命名。  
 平成 3年 4月 グループホーム「さつき荘」開設。  
 " 9月 北國新聞社から大型寄付。マイクロバスなど購入。  
 平成 4年 3月 大規模改修工事完成、男女浴室など改造、厨房、女子洗濯場新築。  
 " 9月 合併浄化槽新設、外壁塗替等、北國新聞社、関連企業等の援助で完成。  
 平成 5年 2月 清水基金の助成で第2作業棟完成。  
 平成 6年 3月 「おぎゃー献金」助成などで生活訓練棟新築。  
 " 12月 安田火災記念財団の助成でグラント排水改良工事。  
 平成10年10月 グループホーム「ひばり荘」開設。  
 平成16年10月 グループホーム「のぞみ」開設。  
 平成17年10月 グループホーム「だいち」開設。  
 " 11月 建物改築工事起工式。  
 平成18年 7月 建物改築工事第1期工事完成。  
 " 10月 車両競技公益資金記念財団の助成を受けて、男子更生棟を児童棟に変更、及び体育館の改修工事。  
 平成19年 3月 建物改築工事第2期工事完成。  
 " 4月 希望が丘建物改築工事竣工式行われる。谷本石川県知事、山出金沢市長、飛田北國新聞社社長・主筆の来賓が祝辞を述べる。新しい理念とシンボルマークを公表した。  
 平成20年 9月 財団法人JKAの補助を受けて、8人乗りワゴン車(セレナ)を購入。  
 平成21年 4月 開設40周年を迎える。希望が丘40周年記念誌「きぼう」発行。  
 家族会より40周年を記念して中庭整備一式が寄贈される。  
 平成22年 3月 日本財団の助成を受けて、8人乗りワゴン車(セレナ)を購入。  
 " 4月 森山間地区上水道整備事業が始まる。  
 平成23年11月 県耐震化整備事業補助金を受けて児童棟耐震改修等工事を開始する。  
 県自立支援基盤整備事業補助金を受けて第1作業棟改修工事を開始する。  
 " 12月 県自立支援基盤整備事業補助金を受けてトラクター、野菜乾燥機、耕耘機などを購入する。  
 平成24年 4月 障害者自立支援法に基づく新体系に4月1日より移行する。  
 平成27年10月 相談支援センター希望が丘事務所・グループホーム「あゆむ」開設  
 平成31年 4月 生活介護事業所「希望が丘カッコー」開設  
 令和 3年12月 グループホーム「すみれ荘」と「ひばり荘」を移転新築し「すみれ」を開設。  
 令和 4年 3月 児童施設増築改修工事が完成し、小規模グループケアに対応する。

■案内図



〒920-0162 金沢市小池町九 40番地 TEL.076-257-5211/FAX.076-257-2108  
 E-mail kibougaoka@p2223.nsk.ne.jp URL http://w2223.nsk.ne.jp/kibougaoka/